SSH NEWS 2026.　第 29 号

SSH NEWS

未知に、挑もう。

神奈川県立横須賀高等学校

Global Link Singapore 2026 に参加しました！

令和８年８月１日(土)～３日(月)にかけてシンガポールで開催された中高生による国際アイディアコンテストである Global Link Singapore 2026 に参加しました。このコンテストは英語で発表し、質疑応答にも英語で答えるという難易度の高いものです。研究タイトル、アブストラクト、発表メンバーは以下のとおりです。

【タイトル】　The Relationship Between Candy and Medicine
【アブストラクト】幼少期に、やむを得ず粉末状の薬を飲む場合がある。そこで、子供が薬を摂取しやすくするために、飴を利用することはできないかと考えた。Prin Ⅰ では、口内モデルを作成し実験を行った。その結果、唾液量と飴の溶解するスピードは関係することがわかった。PrinⅡ では、飴の溶解するスピードをコントロールするため、疎水性物質の含有による効果に着目して、実験を行った。結果を踏まえ、飴の実用化に向けて大きく前進した。
【発表メンバー】３年１組　小田 悠加さん、３年３組　芝 奈緋さん
３年７組　橋本 明さん、成井 琴子さん

❀Global Link Singapore 2026 参加した感想❀



Principia で参加したこの大会は、自分の意識が大きく変わる本当に良い経験になりました。私たちは医療系の応用科学の分野で参加したのですが、一番びっくりしたのは周りの人たちの圧倒的な熱量です。小さい頃からずっと研究を続けている同世代や、たくさんの人の前で堂々と英語で発表している小学生を見て、みんなの大会にかける本気の思いを感じました。その姿にすごく刺激を受けて、自分たちも医療という大事なテーマを扱っている以上、中途半端な気持ちじゃなくて全力を尽くさなきゃいけないと強く思いました。
この大会を通して学んだのは、研究に対して妥協せず本気で向き合う大切さです。世界レベルの大会に出たことで、もっと頑張りたいというやる気が湧いてきました。この学びを忘れず、これからの授業も熱意を持って取り組みたいです。

３年１組 小田 悠加

GLS では、主にアジア圏の中高生が集まって交流したり、発表を聞いたりする研究発表大会です。出身の国によって英語のスピードや発音の仕方などが様々で聞き取ることが難しかったです。初めは緊張してなかなか話すことができなかったのですが、思い切って話しかけると会話が続いて、たくさんの国のことを知ることができたので楽しかったです。伝わるかわからないから話さないのではなく、伝えたいことをしっかり伝えてみようと言う前向きな姿勢がたくさんの人をつないでくれると学びました。研究発表においては、魚が水中ではどのように見ているかなど興味深い研究が多かったです。最終発表に残っている人やチームは英語で滞ることがなく説明していました。研究を行い、それを人に伝えることが大切なので、当たり前ですが、英語を話す・聞くと言う実践的な力が重要だと改めて感じました。

３年３組 芝 奈緋

